

# 平成 28 年度 新潟大学学友会ヨット部 蒼風会総会 議事録

日時 平成 28 年 10 月 9 日 (日) 14 : 00 ~

会場 新潟市立中央図書館 (ほんぽーと) 3 階 多目的ホール

出席者 : (蒼風会) 薄田様、花田様、猪俣様、田辺様、倉島様、市村様、鈴木様、中島様、岩渕様、佐藤様

(現役) <4 回生> 柏倉、小出、小林、佐々木、佐藤、成山、丸山、横山

<3 回生> 有吉、石黒、稲葉、井川、大滝、大堀、小澤、木下、佐藤、中野、星

<2 回生> 江口、坂本、島影、土田、藤田、松林

<1 回生> 石山、樋田、沼田

## 1、開会

○蒼風会会長挨拶

薄田会長 (蒼風会) : 以前に比べて部員数が多くなりました。春合宿をはじめ、練習方法もしっかり計画が立てられています。気付いたことがあれば発言していただきます。

○主将挨拶

有吉 (3 回生) : 69 代主将有吉です。BBS でもご報告させて頂きましたが、先月代替わりいたしました。総会では普段の活動の近況、諸問題を話し合っ、たくさんのご意見を頂きたく思います。

○議長選任

鈴木様 (蒼風会) : 本日議長を務めさせて頂くことになりました。2011 年度卒業の鈴木です。よろしくお願ひします。なにぶん経験も浅く、スムーズな議事の進行ができないかもしれませんが、ご協力お願ひします。(自薦者不在であったため、他薦し承認を得て議長選出となりました)

## 2、報告

(1) 2016 年度東北学生ヨット選手権大会 出場報告

丸山 (4 回生) : 結果報告をさせていただきます。国際 470 級・東北大学 82 点、東北学院大学 117 点、新潟大学 164 点。国際スナイプ級・東北大学 75 点、新潟大学 96 点。両クラス全日本インカレ出場は果たせませんでした。

敗因としてはヨットレースしている時間が少なかった。本番は緊張などに

よりボートスピードがだせなかった。①ボートスピード、②メンタル面の向上、③勝つためのコース引きが課題だと捉えています。部員一同一丸となって、来年度の勝利に向けて励みます。

鈴木様（蒼風会）：今後の遠征予定はどのように考えていますか。

丸山（4回生）：部費との兼ね合いがあるが、ビッグフリートの経験が少ないので、参加艇数の多い関東でのレースに遠征できるとよいと感じています。

## （2）2016年度全日本ヨット個人選手権大会 出場報告 / 報告者 大滝（3回生）

大滝（3回生）：8月30日～9月5日まで、全日本学生ヨット個人選手権大会に、3回生大滝と4回生成山が出場してまいりましたので、その報告をさせていただきます。

全日個選への出場が決まり、総合で30番台を目標にして練習に励みました。東北インカレ後で練習日数が少ない中、東北インカレでの走りの反省を踏まえて、ボートスピードを確保すること、海面をしっかりと見てコースをプランニングすることを中心に練習を行いました。また、本番は全47艇でのスタートのため、有利サイドで勝負して出られるように意識しました。

全日個選本番では、軽風～中風で波もあるコンディションの中、全7レースを消化。総合で47艇中46位という不甲斐ない結果に終わってしまいました。その反省として、次の2点が挙げられます。1点目は、スタートの際に有利サイドから出ることができず、不利サイドでも空いているところから出られなかったこと。有利サイドには艇数が集中していたため、空いているところから出ようとしたが、第一線で出ることができませんでした。2点目は、風が振れたときに有利サイドにいたことができなかったこと。レース前日の練習では海風だったが、レース本番では建物や陸地の影響で振れる風だったため、風の振れを読むのが難しく感じました。

この反省を含めた全日個選の反省は、部全体のミーティングで共有しました。私は、スタートで全国との差を一番痛感しました。今までのスタート練習ではかなわないと痛感しております。スタート練習の量も質も上げていかなければならないと思っています。私が全日個選で感じたことを練習に還元できるように、これからの練習に取り組んでいきたい。

中島様（蒼風会）：艇輸送に関して金沢大学との兼ね合いはどのようになっているのか。

大滝（3回生）：7月の北陸地区国立大学ヨット選手権で全日個選にでる金沢大学の方に声をかけて頂き、共同で輸送することになりました。

中島様（蒼風会）：輸送費は？

大滝（3回生）：1台のトラックでヨット2艇を輸送しました。金沢～西宮間往復のガソリン、ETC代は金沢大学と折半し、諸経費を低減することができました。

中島様（蒼風会）：他大学との船の差はどうか。

大滝（3回生）：レース中は艇速差を感じるが多かった。他大学と比較しての艇の古さ、セールスの古さも原因であると考えられる。新大のレース艇と他大学（特に東北大学）のレース艇に差を感じた。

市村様（蒼風会）：個人選手権はどの大学も実力者がそろっている大会です。状態の良好なセール、船で大会に望んでいる大学・ペアが多いのではないかと思います。艇番も近年に登録・進水したものが多かったのではないのでしょうか。

薄田会長（蒼風会）：自分たちの船を持っていく場合と、借りる場合とでどちらが多数でしょうか。主催者側が用意することはないのか。

市村様（蒼風会）：数年前までは主催者側で用意する場合もありましたが、今は自大学が所有している船を持っていくことが多い。国体に関しても各連盟が用意した自艇を持っていきますし、主催者側で準備する大会は少ないように思います。

### （3）第71回国民体育大会岩手国体 出場報告 / 報告者 佐藤（3回生）

佐藤（3回生）：10月2日～10月5日に岩手県宮古市で開催されました第71回国民体育大会セーリング競技会に参加させていただきました。新潟大学ヨット部の部員、OBが数名出場、運営に参加して参りましたので、その報告をさせていただきます。

大会参加者は以下の通りです。

○種目：成年男子470級

群馬県代表 有吉淳弥（3回生） 江原千尋（2012年度卒）

長野県代表 横山卓之（4回生）

秋田県代表 鈴木智之（2011年度卒）

○種目：成年女子レーザーラジアル級

長野県代表 木下いずみ（3回生）

秋田県代表 佐藤瑞貴（3回生）

○レース運営スタッフ：

土田みか（2回生）

大堀志絵莉（3回生）

岩淵太一（2014年度卒）

佐藤 駿（2014年度卒）

私自身、国体出場は初めての経験であり、学生のレースとはまた違う雰囲気  
の国体に出場することができ、大変貴重な経験になりました。

レーザーラジアル級で出場するにあたり、2003年卒服部様より、艇体(156028)と艀装品一式を、また、2004年卒市村様より艀装品とセール、2005年卒木村様よりセールをお借りしました。

不慣れで経験の浅いレーザーラジアル級での出場にあたり、技術の面を冨樫様始め、たくさんの方々の指導、御協力をいただき、ようやく出場が叶いました。

国体を通してお世話になりました方々のお名前を挙げさせていただくときりがありません。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

レース海面は宮古独特の地形の影響を大きく受け、振れと強弱が激しいコース選択が大変難しい海面でした。本来の470クルーとしての力不足を痛感しました。悔しさの残るレガッタとなってしまいました。

しかしながら、4日間で微風から強風まで様々なコンディションを経験しダウンウインドのレグでは前との距離を詰める場面もありました。技術の面でもレースの中で確実に成長を感じることができた部分もありました。

今、関屋に戻り再びダブルハンドの練習を始めた私達の課題は、宮古で培った地形の影響を考慮したコース選択の考え方やたくさん経験豊かな選手のお話しをお聞きし得た情報などを部活に還元することだと考えています。全日インカレ両クラス出場に向け、練習に励んで参りますので、今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしく申し上げます。

市村様（蒼風会）：全国のセーラーと同じ海上でレースをするのは非常によい経験になったのではないのでしょうか。

鈴木様（蒼風会/議長）：来年以降の出場はどう考えていますか。

佐藤（3回生）：機会があればぜひ出場したいと考えています。

鈴木様（蒼風会/議長）：福井国体のプレ国体が2年後に迫っています。現役・OBからの国体参加は蒼風会会員や競技関係者に対して新潟をアピールできる場もなります。

倉島様（蒼風会）：国体で感じてもらいたいのは県外のチームがどういう走りをしているのか、トリムなどの基礎がしっかりしているかです。得たことは結果に繋がるように自分の練習に生かして頂きたい。

#### （4）蒼風会会計 中間報告 / 蒼風会 会計担当 市村(2004年度卒)

市村様（蒼風会）：(別紙参照)今年度は会費および寄付金としてひとまとめにする。

全日本個人ヨット選手権に10年ぶりに女性が出場したということもあり、OGの方々からの寄付金も多く見受けられました。

年1回の会報の送付となっているため、振りこみが少なくなっていることが懸念されます。

田辺様（蒼風会）：部室の床の件はどうになりましたか。また、総会の出欠のためのハガキ代はどうなっていますか。

市村様（蒼風会）：部室の床補修については昨年中に支払いが済んでいます。ハガキ代は学生に立て替えてもらっている状況です。後日、OB会費で処理します。

佐藤様（蒼風会）：部室の床については3月にフローリング代だけ頂いて、補修しました。外壁も3月から冬の間に補修済みです。専門業者に委託せず、補修作業を部内で行うことで去年の見積もりよりは少額での補修がかないました。

鈴木様（蒼風会/議長）：次回のOB会報に写真付きで報告したい。

#### （5）その他

倉島様（蒼風会）：今年も水道料金の滞納がありました。ブラックリストに入っていると捉えて下さい。毎年13～15万の水道料金が掛かっています。去年までは督促が来る前に建て替えていましたが、額が大きいため、毎年早め早めに注意はしてきました。『みはらしや』と『第二みはらしや』は市から借りているため、営業する権利を買って営業している形となっています。借地料もギリギリで立て替えている状況です。支払いが遅れると来年度の許可が下りなくなってしまう可能性があります。主将と会計は責任をもって支払期日を厳守することをお願いします。許可が下りなければ、ヨット部も出ていかななくてはならないということになりかねません。

市村様（蒼風会）：支払いの時期、回数は年1回でしょうか。

倉島様（蒼風会）：借地料は9月30日、3月30日の年2回払います。水道料金は8月にしめて、9月20日くらいに支払いとりますが、今年は先週（10月初旬）払っている状況です。

水道料金はコンビニでも支払い可能です。借地料はコンビニでは支払えないので直接受け取ります。2人以上に確認していますが、毎年決まっていることなので、会計が準備しておくことを心がけるようにお願いします。

鈴木様（蒼風会/議長）：部室に顔を出しているOBが経験を伝えることも必要かと思います。

市村様（蒼風会）：8～9月は支出がかさむ時期となります。部費の集め方や年間の収支計画と月々の徴収額との推移についてOBも内容のヒアリングをしていくべきかと思います。

倉島様（蒼風会）：毎年決まっていることです。支払が済んだら連絡をするように申し送っていますが、今年はありませんでした。支払の滞納が原因で退去勧告を受けるといったことがないように注意して下さい。

### 3、議題

(1) 全日本個人ヨット選手権大会参加費用援助願い

大滝 (3 回生) : (別紙参照) 今回の遠征費として、艇輸送代、エントリー費、備品購入費等  
含め 210,005 円かかりました。多くの大会に出場しており、蒼風会からの  
援助を頂きたいと思っております。よろしく願いいたします。

市村様 (蒼風会) : 3 年前は遠征費の全額を蒼風会会計より補填しました。個人選手権大会  
に関しては基本全額を支援しているという過去の経緯があります。

鈴木様 (蒼風会/議長) : 全額支援という形でよろしいでしょうか。

市村様 (蒼風会) : 残高としては全額負担するだけの金額があります。

倉島様 (蒼風会) : 今年度の残金が 60 万とのこと。新艇購入につながる話ではないのか。  
もともと OB 会費は新艇購入のために積み上げてきました。

市村様 (蒼風会) : 新艇となると現在の会計残高では不足です。

田辺様 (蒼風会) : バイトで稼ごうとすると留年してしまう。全額出しましょう。

猪俣様 (蒼風会) : 前例があるので出せば良いのではないのでしょうか。学生の方も資金操り  
を工夫してほしい。

市村様 (蒼風会) : 個人戦の出場頻度が高くなってくるとこれまでのように全額支援は難し  
いです。しかし、年代によって支援額が違っていると不平等になってしまう。交通  
費、宿泊費、ハーバー使用料は個人負担では高額です。バックアップする団  
体として全額もしくは参加費を除いた料金を負担すべきかと考えます。エ  
ントリー費は参加者個人負担でもよいのではと思います。

岩淵様 (蒼風会) : 個人的には全額を出すべきと考えています。残りのお金のやりくりを考  
えるよりも、収入を増やすことを考えていくべきです。

市村様 (蒼風会) : 船の輸送費に関しては大会の開催地によっても大きく変わります。遠方  
の場合に輸送費を理由に参加できないということが内容に支援するのが良  
いと思います。

鈴木様 (蒼風会/議長) : 目指すところは全日本です。毎年参加することを前提にエントリー  
費は予算として考えていくべきと考えます。

岩淵様 (蒼風会) : 大会の援助規約があると話やすいのではないのでしょうか。

鈴木様 (蒼風会/議長) : 今年度の全日本個人ヨット選手権は全額負担ということで承認しま  
す。

(2) 470 級新艇購入について / 提案者 星 (3 回生)

星 (3 回生) : (資料参照) 新艇購入の経緯について説明させていただきます。現在の 470 級の  
艇所有状況は資料のようになっております。2009 年に購入した 4389 以外  
の船は艇齢が古く、損傷・劣化により修理した箇所が多くあります。また、  
4389 以外の 3 艇は艇番が近く、今後ほぼ同時期に寿命を迎える可能性が考

えられます。そうなってしまった場合、同時に複数の艇を購入するのは厳しいと考えられます。そこで今年 470 級の新艇購入を考えております。学連艇の販売元であるオクムラボートでの見積もり回答は資料のようになりました。現役会計では部費の一部を購入資金の積み立てとしています。また、部活でアルバイトをしてその収入を積み立てとしています。現在、大学学生支援課へ援助して頂けるか交渉中です。今回、蒼風会からも新艇購入に向けてご援助を受け賜りたく議題提起いたしました。新艇の納艇まで約 4 か月かかるため来年のレースシーズンに間に合わせるため、年内にはオクムラボートに発注したいと考えております。詳細が決まり次第 BBS や封書等でお知らせいたします。ご支援とご協力を頂けますようよろしくお願い致します。

岩渕様（蒼風会）：東北大では 3000 番台はなく、すべて 4000 番代です。新大の艇は他大学と比較して古い状況です。2011 年に進水の 470 艇 4389 の購入配分はどうだったのでしょうか。

鈴木様（蒼風会/議長）：4389 は当時艇体とマストで 137 万円かかりました。セールはなし。蒼風会からは 80 万円を援助していただきました。60 万は部費でまかされた。艇体とマスト以外の艀装品代の 25 万は大学からの支援で賄いました。

星（3 回生）：現役の部費から 16 万、大学からは 50 万の援助の見込みです。備品を購入した際に取得できる支援金があります。

岩渕様（蒼風会）：BBS などでは会費の納入を呼びかけましょう。

倉島様（蒼風会）：現役もバイトをするなど努力をして、予算をたてるべきです。OB 世代もいま経済的に厳しい状況です。年末はどの大学もバイトをしている。

星（3 回生）：現役でも部活単位でバイトを計画しています。

倉島様（蒼風会）：他大学では部費として徴収して、備品の購入などに充てていました。

岩渕様（蒼風会）：現役も甘い。現役で収支報告を作成してほしいと感じますし、予算をもう少しつめる努力をお願いします。

中島様（蒼風会）：学生支援課の反応はどうでしょうか。

星（3 回生）：発注するときに学友会会議にかけられ、金額が決まります。

中島様（蒼風会）：発注前には支援額はわからないということでしょうか。

星（3 回生）：具体的な金額はわかりません。

有吉（3 回生）：何度か学生支援課の担当の方と交渉していますが、大学から出せても 10～20 万と言われてます。支援するとしても新学期に新入生から集める学友会費からの支払いとなるそうです。購入すると決まらないと支援課でも話が進められないとも言われています。他の部活動も支援してもらっているため、0 ではないと思われれます。

鈴木様（蒼風会/議長）：学友会の援助は私たちの代を最後に丸 6 年支援してもらっていない

はずです。今年度の船外機購入はどのように購入したのでしょうか。

有吉（3 年生）：船外機は全学同窓会の雪花支援から出していただきました。

佐藤様（蒼風会）：支援課の援助で無線機を買ってもらったことがあります。10 月から見積もり書を出していて、支援金予算にあまりが出たとの理由で買っていただきました。結果は 2・3 月になると思われます。

市村様（蒼風会）：年内での金額の確保は難しい。

田辺様（蒼風会）：学生が出せる金額ではないため、ある程度 OB が動かないといけない。OB の方で買うということでは年内中に予算の組み立てをしてはどうか。

市村様（蒼風会）：ひとりひとりから 1 万ほど徴収すれば不可能な金額ではない。

全日本インカレの出場の際にも 100 万円徴収することができました。

薄田様（蒼風会）：ここ数年を見ても出せる状況ではない。出せる人は出しているの難しいのではないのでしょうか。

昔は木造だったので、現在と寿命年数が違う。各世代にわかるように説明が必要です。蒼風会の何割くらいの方が会費を払っていますか。

市村様（蒼風会）：2 割に届かない程です。

薄田様（蒼風会）：様々なことを含めて説明が必要（活動、船の構造など）です。会費は 5 割の人が出してくれると状況は変わる。総会に出ていない人の意識を高めることが必要です。

鈴木様（蒼風会/議長）：新艇購入はひとまずもう一度費用の見積もりを練ってもらう。

花田様（蒼風会）：理由づけが甘い。船の劣化という理由ではなく、絶対に勝ちたいという気持ちを前面に出すべきです。熱意が足りない。レースに勝つためにという熱意が文章から読み取れない。過去にお金がなく、貸付という形で使ったときがある。勝つためにどうすればいいのか考えた結果である。今年は個人選手権の結果もあるので、実力は備わってきているのは確かです。買い取ってやるという気合で話を進めていかなければならない。

岩淵様（蒼風会）：よく予算取りは熱意で示せと言われます。頑張ってください。

鈴木様（蒼風会/議長）：決定事項としては船を買う。蒼風会からも捻出する（現在は 60 万円しか出せない）。足りない分はどうするのか現役でも考えていくこと。

猪俣様（蒼風会）：OB 会費の納入は年々増えているのか。

市村様（蒼風会）：今回は多かったです。普段見かけないような名前の方もあがっています。今年は全日個選に出場したという見える成果があったからだと思います。

### (3) 創部 70 周年記念式典について / 提案者 蒼風会 市村

市村様（蒼風会）：開催時期を決めなくてはなりません。ヨットシーズンに入る直前の 2 月がよろしいのかと思いますが、ご意見をお願いします。会場や宿などの手配もあります。シーズン中は学生のヨット活動や学業との兼ね合いもあるので



避けたいと考えています。社会人は様々な業種の方がいらっしゃいますので繁忙期が異なります。学生の都合に合わせた日程が良いと考えています。

花田様（蒼風会）：70周年記念式典を心待ちにしている方々が多くいらっしゃいます。開催時期に関してはいつでもよいが、式典は必ずやるべきです。

市村様（蒼風会）：問題がないのであれば、日程が決まり次第お知らせします。

#### （4）その他

##### ○会費を納める方法

薄田会長（蒼風会）：OB会報を作る際に声をかけるだけで大きく違ってくると思われま

##### ○OB総会のありかたについて

岩淵様（蒼風会）：幹事会をしてから、本会にもってくればよいのではないのでしょうか。7月のOB戦に合わせてOB1、2年目で幹事会を行い、11月下旬の納艇会に合わせてOB総会を開催することを提案します。また、総会は現役全員参加ではなく、その分現役は練習に励めるようにしていきたい。

薄田会長（蒼風会）：基本的には大賛成です。OB戦の案内を上世代にも出していくとOB会費の出資にも繋がるのではないのでしょうか。

倉島様（蒼風会）：OB戦は楽しいものです。今は案内が無くなって悲しいです。

花田様（蒼風会）：現役とOBが話をする機会でもあり、総会の流れを生に聞いてもらうことに意味があると思う。ぜひ現役全員に出席してもらいたい。

成山（4回生）：諸先輩の方々の当時の話を聞くことで勉強になる。総会で知ることも多くあります。総会の話聞くだけでも参加の価値はあります。OB幹事会には現役の幹事も混ぜてもらいたいと思います。

市村様（蒼風会）：3月に会報の話し合いも兼ねて1度集まるのが良いですね。市内近辺に住んでいるOBも増えているので、今後、蒼風会の諸事を担当して下さる方を集う方法としてもいい案だと思います。

##### ○鼠ヶ関での事故について

猪俣様（蒼風会）：鼠ヶ関での事故の現状はどうなっていますか。

丸山（4回生）：特に現役の方からは何もしていません。大学の方で、加茂水産高校や山形行政機関、漁業関係者に連絡を取ってもらっているようだが、進展はないと聞いています。学生支援課の担当者も変わったため、話があまり進んでいないのが現状です。

薄田様（蒼風会）：引き上げ費は建て替えているのか。

丸山（4回生）：大学で建て替えてもらっている状況です。後ほど、請求はくるかもしれませんが。

4、議長解任

5、閉会